

予 算 要 求 資 料

令和7年度9月補正予算

支出科目 款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

事業名 積算システム単価データ抽出業務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111 (内4573)

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 66 千円 (現計予算額： 5,051 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	5,051	0	0	0	0	0	3,211	0	1,840
補 正 要求額	66	0	0	0	0	0	42	0	24
決定額									

※財源のうち「その他」(諸収入)の内訳

市町村負担額 39千円

外郭団体負担額(岐阜県建設研究センターほか) 3千円

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・設計積算システムで使用する資材単価・市場単価について、登録するためのデータを物価資料から抽出して作成する業務を委託する。
- ・当初予算要求時より人件費が増額していることにより不足分を要求したい。

(2) 事業内容

- ・設計積算システムへ登録する資材単価・市場単価について、物価資料に掲載されている単価を調査し、指定したエクセルシートへの入力作業を委託する。

(3) 県負担・補助率の考え方

・ 10 / 10

(4) 類似事業の有無

・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	66	単価データの抽出業務
合計	66	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

・ 無

(2) 国・他県の状況

・ 他自治体でも同様に外部委託により単価データ抽出を行っている。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

資材単価・市場単価の抽出業務を5月単価登録作業時までに委託する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

設計積算システム単価データ抽出に関する委託料であり、指標となる数値はない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	物価資料に掲載のある単価データを、指定したエクセルシートへ入力する作業を委託した。そのデータを設計積算システムに登録することにより、単価データの人為的な登録ミスの発生を防止した。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	物価資料に掲載のある単価データを、指定したエクセルシートへ入力する作業を委託した。そのデータを設計積算システムに登録することにより、単価データの人為的な登録ミスの発生を防止した。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県農政部、林政部、県土整備部、都市建築部（以下、「建設4部」）にかかる建設工事や調査設計業務委託等の積算業務で使用する単価であり、積算の向上及び単価抽出事務の負担軽減などを実現するために抽出業務委託することが必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	入力を委託したデータを登録することにより、個々の職員が単価を調べる手間の削減、人為的なミスによる単価ミスの解消など、職員の事務作業の負担軽減を実現している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	岐阜県農政部、林政部、県土整備部、都市建築部にかかる建設工事や調査設計業務委託等の積算業務で使用する単価であり、積算の向上及び単価抽出事務の負担軽減など事務の効率化を実現している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 なし。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 業務効率化のために今後も行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】